

文部科学省検定済教科書語彙リストに関する研究*

— 中学・高校での指導目安 3,000 語レベルの語彙リストの分析 —

山本五郎

広島大学外国語教育研究センター

1. はじめに

学習指導要領による英語教育の方針は、「英語を聞いて話し手の意向などを理解すること」に加えて「英語を用いて自分の考えなどを話すこと」を重視しており、英語によるコミュニケーション能力の養成に重きを置いている。特にオーラルコミュニケーションに関する学習内容に目を向けてみると、2012年度から全面実施となった中学校の学習指導要領では、「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること」や「与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること」などに焦点を当てた項目が追加されている。また教材についても、「実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮したものを取り上げるものとする」としており、英語教育の明確な目標として実用的な英語力の養成を打ち出している。

高等学校の学習指導要領でも、中学校での学習内容を踏まえて、「与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す」という高度なオーラルコミュニケーション力が要求される活動を学習内容に盛り込んでいる。授業での言語活動を英語で行うという基本方針が明文化されていることに加えて、「海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する」という項目まで追加されており、改訂前の指導要領と比べると、グローバル化が進む社会を見据えた内容へと改訂されているのが分かる。

また学習指導要領の改訂にあわせて、国際的に競争力のある人材を育成するという目標のもと、文部科学省によるスーパーグローバルハイスクールやスーパーグローバル大学等事業が展開されており、より実践的な英語力の習得が求められる傾向はますます強まっている。平成26年には、全9回に渡り「英語教育の在り方に関する有識者会議」が文部科学省主導で行われており、これについては「(実業界代表の識者による)とにかくビジネスに使えるような英語をできるだけ小さい時から教えるべし」という意見が声高に主張されているのが印象的(古石2015)という報告もされている。このような英語教育の流れとグローバル化が叫ばれる昨今の時勢を鑑みると、日本の英語教育において所謂オーラルコミュニケーション力の養成が求められる傾向は今後も変わらないであろう。

しかしながら一方で、日本人学習者にとって実践的な英語力を学校教育で身に付けることが難しいという認識は英語教育関係者のみならず一般にも広まっているのが現状である。このような背景の中、中学校及び高等学校で採用されている文部科学省検定済の教科書を通して学ぶ英語学習の基礎となる語彙が、英語による日常会話で高頻度に使用される語彙をどこまで反映しているのかという点について明らかにすることが本稿の研究目的である。この研究目標に沿って、本稿では、中学・高校での英語教育において指導目安とされている3,000語レベルの語彙について文部科学省検定済教科書の語彙リストと話し言葉コーパスに基づく出現頻度順語彙リストを比較し、その特性について論じる。

2. 分析対象の語彙リスト

現行の学習指導要領では中学校と高等学校で学習目標とする語彙数について、従来の 900 語と 1,300 語からそれぞれ 1,200 語と 1,800 語に語数を増やしている。中学校、高等学校を合わせると学習の目安となる語彙数が 2,200 語から 3,000 語に増加していることになる。これに基づき、本稿では 3,000 語レベルの語彙リストを比較分析の対象とした。

文部科学省検定済教科書に基づく 3,000 語レベルの語彙リストについては、中学・高校の検定済教科書の語彙を出現頻度順に整理した塩見 (2002) に基づいて作成した。検定済教科書 146 種 160 冊に現れた語彙を頻度順に整理したリストによれば、3,000 語レベルの語彙は頻度 12 回以上の単語が該当する。頻度 12 回の語群は 182 語¹⁾であり、本稿ではそれらの単語を全て含め 3,035 語を高校までの指導目標の目安である 3,000 語レベルとした。また、3,000 語レベルに含まれる中学指定基本語 508 語²⁾、中学校での指導目標目安の 1,200 語レベル³⁾の語彙リストを作成し、3 種類のサイズの語彙リストを作成した。

話し言葉コーパスに基づいた語彙リストについては、映画英語コーパス⁴⁾のデータをコンコーダンサを用いて出現頻度別に整理し、高頻度に出現する語彙から順に教科書語彙リストと同数の語彙リストを作成した。中学学習指導要領で指定された指定基本語に焦点を当てて分析を行った先行研究 (山本 2015) では、間投詞を比較分析の対象として扱っていないが、本稿では間投詞を会話中高頻度で使用される英語の表現形式と見なして排除することなく話し言葉語彙リストを作成した。

3. 比較分析結果

文部科学省検定済教科書と話し言葉コーパスに基づき作成した 508 語、1,216 語、3,035 語の語彙リストについて、各サイズの語彙リストの類似性を相関係数 (Jaccard 係数) を用いて示したのが (1a)–(1c) である。

(1) 語彙リストの類似性

a. 508 語 : $\text{Sim}(A1, B1) = |A1 \cap B1| / |A1 \cup B1| = 0.423$

b. 1,216 語 : $\text{Sim}(A2, B2) = |A2 \cap B2| / |A2 \cup B2| = 0.499$

c. 3,035 語 : $\text{Sim}(A3, B3) = |A3 \cap B3| / |A3 \cup B3| = 0.512$

(教科書語彙リストについては 508 語 = A1, 1,216 語 = A2, 3,035 語 = A3, 話し言葉コーパス語彙リストについては 508 語 = B1, 1,216 語 = B2, 3,035 語 = B3 とした)

(1a) について、指定基本語である 508 語での比較では、共通して現れた語彙は 304 語であったが、3,000 語レベルまで範囲を広げると指定基本語の内、479 語が話し言葉コーパス語彙リストにも含まれていることが分かった。指定基本語 508 語に限定した比較での相関係数の値が低くなっているのは、検定済教科書では学習の初期段階で重要語句として提示している「季節、月、曜日、時間、天気、数 (序数を含む)、家族などの日常生活にかかわる基本的な語」が必ずしもオーラルコミュニケーションでの最頻出語彙ではないことが一因である。

比較する語彙リストのサイズが大きくなるほど、類似性は高くなることが予想されるが、(1b) と (1c) について見ると、比較語彙数は 1,200 語レベルから 3,000 語レベルへと 2.5 倍に増えているにも関わらず、相関係数の数値に大きな差はなく、教科書語彙リストと話し言葉語彙リストそれぞれに特有の語群が一定の割合で存在することが伺える。第一章で触れた実践的な英語力の養成という教育目的に照らして考えると、話し言葉語彙リストの頻出語でありながら教科書語彙リストに含まれていない語は、現行の学習目標である 3,000 語レベルを超えた語彙学習の対象と

して重点的に取り上げられるべき語群であると考えることができる。以下では話し言葉語彙リストに現れた語彙を提示し、その特性について考察する。

3.1 人名・地名などの固有名詞

話し言葉語彙リストでのみ観察された 970 語の内、以下の (2) に示したように 380 語が人名や地名を表す固有名詞であった。

(2) 固有名詞

Aaron	Brown	Ellie	Jerry	Mai	Orleans	Sherman
Ace	Bruce	Emily	Jersey	Manhattan	Oscar	Sherry
Adam	Buchanan	Emma	Jesus	Many	Oswald	Shrek
Adrian	Buzz	Eric	Jim	Marcus	Palmer	Sid
Al	Cal	Erin	Jimmy	Margaret	Pam	Simon
Alan	Campbell	Ethan	Jo	Maria	Parker	Simone
Albert	Carl	FBI	Joe	Marie	Patrick	Sonny
Alex	Carlos	Fiona	Joel	Marshall	Patsy	Sophie
Alexander	Carol	Ford	Joey	Martha	Paul	Soviet
Ali	Carter	Forrest	John	Martin	Paulie	Stan
Alice	Catherine	Francis	Johnny	Marty	Penny	Stanley
Alicia	Charles	Frank	Johnson	Marwan	Percy	Stephen
Ally	Charlie	Frankie	Jones	Mary	Pete	Steve
Almeida	Chloe	Fred	Jordan	Mason	Peter	Steven
Amelia	Chris	Fuller	Joseph	Matt	Phil	Stu
Amy	Christ	George	Josh	Maverick	Philip	Stuart
Anderson	Chuck	Gerry	Judy	Max	Phillip	Sue
Andrew	CIA	Glenn	Julia	Maximus	Phoenix	Sullivan
Andy	Claire	Gordon	Julie	Mcclane	Pope	Susan
Angela	Clarence	Graham	Juliet	Meg	Potter	Taylor
Ann	Clark	Greg	Jury	Megan	Rachel	Ted
Anna	Claus	Gus	Kansas	Melanie	Raymond	Teddy
Anne	Cole	Hal	Karen	Memphis	Rhett	Terry
Annie	Collins	Hank	Kate	Miami	Richard	Tess
Apollo	Cooper	Hannah	Katie	Michael	Richie	Texas
Arthur	Corleone	Harold	Kay	Michelle	Rick	Thomas
Ashley	CTU	Harry	Kelly	Mick	Riggs	Tim
Audrey	Cuba	Harvard	Kennedy	Mickey	Rita	Tommy
Baker	Curtis	Hayes	Kevin	Mike	Robert	Tony
Balboa	Dale	Heather	Kim	Mikey	Roberts	Tripp
Barbara	Dallas	Hector	Knox	Miller	Robinson	Troy
Barnes	Dan	Helen	LA	Miranda	Rocky	Tyler
Barry	Daniel	Heller	Lara	Mitch	Roger	Vegas
Bauer	Danny	Henderson	Larry	Mitchell	Romeo	Victor
Belle	Darcy	Henry	Le	Miyagi	Ron	Vietnam
Ben	Dave	Holly	Lecter	Molly	Ross	Viktor
Benjamin	David	Hollywood	Lee	Monica	Roy	Vince
Benny	de	Houston	Lenny	Monty	Ruby	Vincent
Bernie	Debbie	Howard	Leo	Morgan	Russell	Virginia
Beth	Del	Iris	Lewis	Moscow	Ruth	Wallace
Betty	Diana	Jack	Lincoln	Murphy	Ryan	Walt
Biff	Dick	Jackie	Linda	Nancy	Sal	Walter
Billy	Diego	Jackson	Lisa	Nasa	Sally	Warren
Blanche	Dorothy	Jake	Logan	Nathan	Sam	Wayne
Bly	Doug	James	Los	Ned	San	Wendy
Bo	Driscoll	Jane	Lou	Neil	Santa	Williams
Bob	Duncan	Janet	Louis	Nelson	Sara	Willie
Bobby	Earl	Jason	Louise	Neo	Sarah	Willy
Bond	Ed	Jean	Lucy	Nicholas	Saunders	Wilson
Bonnie	Eddie	Jedi	Luke	Nick	Scarlett	Woody
Bourne	Edgar	Jeff	Lydia	Nicky	Scott	
Brian	Edward	Jeffrey	Lynn	Nina	Sean	
Bridget	El	Jenna	Mac	Nixon	Shane	
Broadway	Elizabeth	Jennifer	Mack	Norman	Shaun	
Brooklyn	Ellen	Jenny	Maggie	Oliver	Shaw	

人名についてはその全てを学習対象として網羅することは現実的ではないが、話し言葉語彙リストの3,000語レベルに、*Ed* (Edward) や *Stu* (Stewart, Stuart) のような短縮形が複数含まれている点を踏まえると、英語での一般的な人名とその短縮形について一定の知識を増やすことに意義がないとは言えない。また *Brooklyn*, *Houston*, *Texas* のような都市や州を表すものや、*FBI* や *CIA* などの組織や特定の名詞を表す頭字語については、暦や数字のように一般常識として学習する意義があると言えるだろう。以下 (3a)–(3g) に話し言葉コーパスから抽出した固有名詞のデータを一部例示する⁵⁾。

- (3) a. “So you, *Ed* and Little Mickey is picking up strays.” (Cowboys and Aliens 2011)
 b. “Could you just run it by *Stu*?” (The Hangover Part 2 2011)
 c. “What unit are you from?”
 “I’m from *Brooklyn*.” (Night at the Museum Battle of the Smithsonian 2009)
 d. “I have to go to *Houston* for a night.” (Mission Impossible III 2006)
 e. “I think he said he’s from *Texas* too.” (Parker 2013)
 f. “I’m Lieutenant Collet from DCPJ. A kind of French *FBI*.” (The Da Vinci Code 2006)
 g. “Cross the protected line used with all that have authorization of *CIA*.”
 (The Bourne Ultimatum 2007)

3.2 間投詞

3,000語レベルの語彙リスト比較において話し言葉でのみ観察された970語の内、以下の(4)に示した52語が間投詞であった。

(4) 間投詞⁶⁾

aah	boo	er	hmm	nah	shh	ye
ah	bravo	fuck	ho	noah	shit	yeh
ahh	bullshit	gee	hoo	nope	uh	yep
amen	bye	goddamn	howdy	nuts	um	yo
aw	crap	gosh	huh	ohh	un	
aye	da	ha	jeez	okay	whoo	
bingo	doo	hail	mm	ooh	wow	
blah	eh	hm	mmm	ow	ya	

大半が *ah*, *mm*, *oh*, のような non-lexical な表現形式であるが、*bullshit*, *fuck*, *goddamn* のような罵り言葉も少なからず含まれている。また *bye* と *okay* については、教科書語彙リストではどちらも4,200語レベルの語彙として扱われており、基本的な口語表現の中には教科書語彙リストでは充分に取り上げられていないものがあることが分かる。同様に *gosh* については6,000語レベル、*gee* については7,200語レベルという扱いになっている。例としてこれらの話し言葉を (5a) から (5l) に挙げる。

- (5) a. “Is that it?”
 “*Yep*. We found him.” (A Good Day To Die Hard 2013)
 b. “Do you know what your father lacked like?”
 “*Nope*, not a clue.” (Extremely Loud and Incredibly Close 2011)
 c. “*Ah*, that I should know well.” (Charlie and the Chocolate Factory 2005)
 d. “I couldn’t do something like that.”
 “*Mm*. You already did. To Emily.” (The Devil Wears Prada 2006)

- e. “*Oh*, we tamed the seas for ourselves, aye.” (Pirates of the Caribbean at World’s End 2007)
- f. “Ah *bullshit!* It’s always been about the money.” (Live Free or Die Hard 2007)
- g. “*Fuck*, they almost got me!” (Armadillo 2010)
- h. “*Goddamn*, you are fine when you’re mad.” (Dexter Season 1: Circle of Friends 2007)
- i. “Can I call you later?”
“Sure. *Bye*.” (Here Comes the Boom 2012)
- j. “*Okay*, let me keep the book.” (Chinese Zodiac 2012)
- k. “*Gosh*, you’re gorgeous.” (Transformers 2007)
- l. “*Gee*, you’re the best king ever.” (Where the Wild Things Are 2009)

3.3 発音綴り

オーラルコミュニケーションでの特徴的な表現形式として発音綴りが挙げられる。教科書語彙リストには含まれていない発音綴りとして以下 (6) に示した 15 例が観察された。

(6) 発音綴り

ain't	cos	gimme	gotcha	kinda	oughta	wanna	whoa
bout	dammit	gonna	gotta	mo	outta	wh	

語彙リストの作成にあたり、否定の *not* や助動詞、*be* 動詞等の短縮形は個別の表現形式としては扱っていないが *ain't* については塩見 (2002) でも 6,000 語レベルの単語として取り上げているため本稿もこれに倣い発音綴りとしてカウントした。上記の発音綴りの中には、EFL/ESL 用の辞書でも見出し語として収録されておりその表現形式は広く認められているものの、教科書語彙リストでは充分取り上げられていないものが多いことが分かる。特に 2 語の単語を同化や連結等の音声特徴に沿って綴った一部の表現については、二つの語彙リストでの乖離が顕著であった。個別の表現に目を向けると、*gonna* (*going to*), *gotta* (*got to*), *wanna* (*want to*) に関しては、話し言葉語彙リストではそれぞれ頻度順に 80 位、195 位、220 位であったが、教科書語彙リストでは、*gonna* は 4,200 語レベル、*gotta* は 9,100 語レベル、*wanna* は 14,800 語レベルとして扱われている。また *gimme* (*give me*), *kinda* (*kind of*), *gotcha* (*got you*) 等その他の発音綴り表現については、146 種 160 冊の検定済教科書で取り上げられているものはなかった。以下 (7a) から (7g) に話し言葉で用いられるこれらの表現の例を示す。

- (7) a. “I *ain't* no slave.” (Abraham Lincoln Vampire Hunter 2012)
- b. “I’m *gonna* ask you to try not to turn around and look at me under any circumstances.”
(A Dangerous Method 2011)
- c. “We *gotta* do something to stop this dive.” (Flight 2012)
- d. “I do not *wanna* believe it either.” (Aliens vs Predator - Requiem 2007)
- e. “*Gimme* your hand.” (Star Trek 2009)
- f. “I *kinda* hoped you’d say that.” (Avatar 2009)
- g. “Here we go.”
“*Gotcha!*” (Journey 2: The Mysterious Island 2012)

3.4 名詞, 動詞, 形容詞, 副詞等

上述した話し言葉語彙リストに特徴的な語群の他に, 名詞, 動詞, 形容詞, 副詞等一般的な語彙について, 話し言葉で頻繁に用いられる 3,000 語レベルの語彙リストに含まれているものの, 検定済教科書では 3,000 語を超える語彙レベルとして扱われている語彙は 523 語であった。その内 54 語が教科書には現れない語彙であった。教科書の語彙レベルに沿って以下 (8) から (17) に提示する。

(8) 教科書 4,000 語レベルの話し言葉の頻出語彙

absolute	cab	debt	grade	merry	reasonable	swell
access	cafe	deed	grandpa	mommy	recommend	tag
ad	cage	definitely	grass	mouse	rip	target
agency	cancel	disgusting	guilty	murder	robot	territory
agreement	candy	downtown	gym	nail	rocket	threw
ambulance	chain	dry	hawk	naked	romantic	thunder
angel	champion	duck	helicopter	nasty	routine	transfer
anniversary	cheat	empire	helmet	neat	scar	trash
anybody	chip	entry	honestly	nephew	scary	tunnel
apology	chuckle	executive	honey	nightmare	secure	turkey
applause	cliff	exercise	hook	noble	self	twins
assure	closet	exit	horn	officially	sex	underneath
avenue	coat	fee	incredible	page	shark	union
barn	conference	fellas	irish	pants	signature	unit
basement	confirm	fetch	itself	papa	skip	vehicle
bat	congress	financial	jazz	past	spit	virus
bedroom	cooperate	flesh	jerk	photo	spy	visual
beloved	couch	fox	ladder	pie	state	whiskey
bored	council	frame	launch	pig	stock	whoever
boyfriend	count	frightened	liberty	pitch	stole	wire
brand	cover	fund	load	plus	straighten	wolf
brief	critical	gentleman	loose	precisely	strip	worm
bud	dancer	girlfriend	loser	prime	subway	yourself
bug	darling	golf	mars	privacy	suitcase	zone
bull	data	goodness	mate	proceed	surgeon	
bump	deadly	governor	meantime	punch	surgery	

動詞については三人称単数の -s や過去形の -ed, 進行形の -ing など規則変化についてはまとめて一つの単語として扱ったが, *frightened* については塩見 (2002) でも *frighten* とは別に扱っているため本稿でもそれに倣った。指導目安である 3,000 語レベルの語彙には *boyfriend*, *closet*, *girlfriend*, *suitcase*, *target* 等平易な名詞の多くが含まれていないことが分かる。以下 (9a) – (9f) に例を挙げる

- (9) a. “We don’t want the last image of this church to be of *frightened* old men sneaking out the back door.” (Angels and Demons 2009)
 b. “My mom’s *boyfriend* has a Porsche.” (2012 2009)
 c. “My *closet* is a disaster.” (Larry Crowne 2011)
 d. “His *girlfriend* came by last night.” (Barbara 2012)
 e. “That’s a nice *suitcase*, by the way.” (That’s My Boy 2012)
 f. “His *target* is the Skyfleet prototype.” (Casino Royale 2006)

以下に, 話し言葉で頻出する 3,000 語レベルの語彙の内, 文部科学省検定済教科書では 6,000 語レベルまでに含まれる語群を (10) から (13) にまとめた。

(10) 教科書 4,200 語レベルの話し言葉の頻出語彙

boom	dragon	jet	murderer	ridiculous	suspicious	wreck
briefcase	frankly	lobby	operator	rifle	swear	
classic	gum	madam	pistol	rusty	terminal	
cop	hut	mercy	porter	session	thief	
coward	idiot	mighty	practically	shrink	urgent	
crown	inch	minor	proof	spider	wicked	
decent	jealous	monitor	reputation	suicide	wide	

(11) 教科書 4,700 語レベルの話し言葉の頻出語彙

agent	cable	eve	groans	lane	primary	supper
alley	chick	fancy	guarantee	liar	procedure	telephone
assistance	chill	fighter	guts	mama	retreat	toast
badge	commander	gear	hostile	marvelous	revenge	
behalf	core	generous	internal	opera	review	
betray	delivery	glorious	knight	pal	saint	
blast	dumb	grace	lamb	peanut	super	

(12) 教科書 5,200 語レベルの話し言葉の頻出語彙

alert	dealer	federal	insane	pit	sneak	
alien	deputy	feet	insurance	pulse	thy	
chamber	dismiss	gentlemen	laundry	puppy	troops	
chef	donkey	halt	mum	senator	underwear	
circus	escort	hip	personally	sexual		

(13) 教科書 6,000 語レベルの話し言葉の頻出語彙

anytime	civilian	conscience	facility	lousy	panting	surrender
bloody	coincidence	cow	gang	ma	patrol	sweetheart
buddy	commission	cowboy	gorgeous	madame	pills	terrific
bunch	commitment	damn	illegal	majesty	profile	tiger
cap	committed	drill	inspector	mobile	radar	van
capable	confess	duke	killer	objection	rear	witch
champagne	congressman	estate	latest	pa	sin	

(8)－(13) までに示した語数は 345 語であり、教科書語彙リストに沿って学習目標となる語彙数を設定する場合、現行の 3,000 語から 6,000 語に引き上げれば、話し言葉で頻繁に用いられる語彙の内、間投詞や固有名詞などを除いた一般的な語彙で 3,000 語レベルには入っていなかった 522 語中 65% を超える単語を教科書語彙リストで学習することが可能となる。しかし指導目標の語数を倍の 6,000 語レベルに設定しても教科書語彙リストでは話し言葉で頻繁に用いられる語彙の内以下の (14)－(17) に示した語群は含まれないということになる。

(14) 教科書 7,200 語レベルの話し言葉の頻出語彙

academy	chattering	ditch	joint	pro	someplace	virgin
admiral	client	fake	liquor	prom	stake	
aircraft	combat	flip	loan	punk	terrorists	
bucks	communist	fort	minus	ranch	thee	
bum	county	gay	nigger	rape	therapy	
chairman	delta	hood	offense	senate	trigger	

(15) 教科書 9,100 語レベルの話し言葉の頻出語彙

assault	champ	fabulous	kidnapped	prick	screw	suite
awesome	chapel	foul	kit	priority	sergeant	technically
bid	confession	freak	maid	rap	shaft	vault
booth	congratulations	grid	medication	reverend	skipper	vice
bunny	connected	instrumental	momma	robbery	squad	walker
butt	dean	investigation	pregnant	scotch	stink	weird

(16) 教科書 14,800 語レベルの話し言葉の頻出語彙

alpha	coke	headquarters	luggage	option	reckon	whom
authorize	counsel	highness	mayday	parole	sexy	wizard
bastard	dope	hostage	missile	pathetic	sheriff	
bleeding	engaged	hub	mob	penalty	sucker	
bust	ex	kitty	monsieur	personnel	tee	
butler	gal	lab	nanny	poker	testify	
closer	grunts	lad	negotiate	pre	threatened	

(17) 教科書語彙リストに現れない語彙

ass	bro	custody	indistinct	non	pussy	tits
asshole	cc	dude	lieutenant	outfit	sassy	wade
attorney	chopper	feds	lt	override	sec	warhead
babe	clearance	file	marshal	password	st	warrant
bail	co	fucker	mi	pee	sub	wheeler
beep	colonel	homicide	moron	penis	surveillance	whore
bishop	con	hon	motherfucker	perimeter	sweetie	
bitch	conspiracy	hooker	nigga	piss	testimony	

日本語でもカナ表記として定着している *option*, *password*, *penalty* のような単語や, *personnel* や *negotiate* のように TOEIC 等の資格英語では頻出の単語が, 話し言葉では 3,000 語レベルに含まれている一方で, 教科書では 14,800 語レベル以上の語彙として扱われているのは興味深い事実である。以下 (18) に話し言葉におけるこれらの単語の使用例を挙げる。

- (18) a. “We worked every *option* through the night.” (2012 2009)
 b. “Please be so kind as to enter a *password* of your choice.” (Casino Royale 2006)
 c. “They were gonna charge us a *penalty*.” (Breaking Bad: Seven Thirty-Seven 2009)
 d. “And when did I make you Head of *Personnel*?” (Burlesque 2010)
 e. “I will not *negotiate* with you, Severus.” (Harry Potter And The Half-blood Prince 2009)

また, 今回比較した語彙リストに含まれる単語は, 品詞の違いや単語が持つ多義性を反映しているとは言えず, 基本的に見出し語の形が同じであれば一語として扱われている点にも留意しておかなければならない。教科書語彙リストと話し言葉語彙リストに共通して現れた基本的な語句の中にも, 実際の使われ方を見ると一つの語義を学習しているだけでは充分でないものは多い。以下の (19)–(21) に典型的な例を挙げた。教科書語彙リストでは, *place* と *ship* については 1,200 語レベル, *humor* は 3,000 語レベルに含まれている単語である。それぞれ第一義としては (19a), (20a), (21a) に挙げたような名詞の意味が学習対象となるが, (19b), (19c), (20b), (20c), (21b) のような動詞の意味や用法は名詞の意味が既習であっても学習者にとって理解することは容易ではない。

- (19) a. “I’m in the same *place* where it all started.” (A Good Day To Die Hard 2013)
 b. “The object of which is to move the tower from peg to peg without *placing* a larger block on top of a smaller block.” (Rise of the Planet of the Apes 2011)
 c. “Not one buyer has made an appointment to *place* an order.”
 (Gossip Girl Season 3: Dirty Rotten Scandals 2012)
- (20) a. “And you came on one of your sailing *ships*.” (John Carter 2012)
 b. “We have 40 pounds of product ready to *ship*, ready to go.” (Breaking Bad Season 2: Say My Name 2012)
 c. “You’re gonna retrieve all the recent *shipping* manifests.” (Iron Man 2008)
- (21) a. “My husband has kind of a strange sense of *humor*.” (Dexter Season 6: Ricochet Rabbit 2011)

b. “Why do you always got to know the name?”

“Humor me. The guy’s name is Stuart Mosley.” (Haven Season 3: Sarah 2012)

このような単語は例外的なものではなく、基本語彙の多くは品詞別の用法や複数の語義を持っている。以上を踏まえると、基本語彙の学習目標の設定や学習対象とする語彙リストの作成及び語彙学習教材の開発にあたっては、見出し語の数や基本語義のみにとらわれることなく多義性や異なる品詞の用法を考慮する必要があると言える。

いずれにしても、実践的な英語力の養成やグローバル人材育成のための英語教育といった目標に沿って考えれば、学習指導要領で中学校・高等学校での学習の目安とされる 3,000 語レベルでは、十分な語彙力と言えないことは明らかであろう。実践的な英語力を身に付けるためには、3,000 語レベルの語彙を基礎として、さらに高度な語彙の習得が必要であり、冒頭に述べたような学習目標を達成できるような語彙レベルの検証と妥当性の高い実践的な語彙リストの構築が求められる。

4. まとめ

本稿では、学習指導要領を概観し英語教育の方針を踏まえた上で、文部科学省検定済教科書の語彙リストと話し言葉コーパスから作成した語彙リストを比較し分析した。中学校・高等学校での学習の目安とされる 3,000 語レベルの語彙リストを比較することで、話し言葉では高頻度に用いられているものの、教科書では 3,000 語レベルには含まれていない語彙について、リスト化して明示するとともにその語群の特性について考察した。発音綴りや間投詞などオーラルコミュニケーション特有の語群のみならず、一般的な名詞や動詞などの中にも教科書語彙リストの 3,000 語レベルには含まれないものが多く存在することが明らかになった。また学習目標の語彙数については現行の倍の 6,000 語に設定しても、話し言葉で頻出する語群を全て含むことにはならず、実践力を重視した学習目標を達成するための課題が浮き彫りになったと言える。

最後に、本稿では検定済教科書語彙リストと映画英語コーパスから作成した話し言葉コーパスを比較したが、実践的な英語力に焦点をあてて学習対象の語彙リストの特性を検証するという意味では、書き言葉を含め様々なソースを基にしたコーパスを用いてより精度の高い分析をしていく必要がある。中学・高校での指導目標とされている 3,000 語を超えたより広範囲の語彙を対象とした分析や、比較対象に用いるコーパスの構築等については今後の研究の課題としたい。

* 本研究は、JSPS 科研費 (25770205) に基づくものである。

注

1) 塩見 (2002) の文部科学省検定済教科書語彙リストによる頻度 12 回の語群は、146 種の教科書の 8.2% に共通して現れる 182 語が該当する。中学・高校での学習目標の目安に沿って厳密に 3,000 語で区切って語彙リストを作成した場合、同頻度の語彙の内以下の 36 語がリストに含まれなくなるため、本稿では塩見のリストに沿って 182 語を全て語彙リストに含め 3,000 語レベルの語彙リストとした。

snap	spin	suffering	tank	unnecessary	waiter
sock	splash	superior	thrill	usual	web
soften	steak	surprising	toss	vain	wheat
sparkle	stolen	switzerland	tournament	vital	wildly
specialist	strap	sword	transport	volcano	worst
spill	strictly	sympathetic	unbelievable	wagon	worthy

- 2) 2000年度の学習指導要領では *till* と *until* を同一と見なし 507語を指定語としているが、塩見(2002)ではこれらの2語を個別にカウントして 508語を学習必修語としている。本稿では塩見に倣い指定必修語は 508語として語彙リストを作成した。
- 3) 塩見(2002)の文部科学省検定済教科書語彙リストによれば 1,200語レベルの語彙は、出現頻度 34回の語群が該当する。厳密に 1,200語で語彙リストを作成した場合、以下の 16語が同頻度の語群でありながらリストに含まれなくなるため、本稿ではこれらを含め 1,216語の語彙リストを作成し 1,200語レベルとした。

manage	peaceful	role	somehow	symbol	whether
notice	pleasure	scream	style	thus	
opinion	relax	shock	surround	unfortunately	

- 4) 正式名称は、「ATEM 関西 映画英語字幕データベース (ATEM Kansai Movie English Caption Database) (Ver.3.0)」。
- 978本の映画データから成り、収録語数は 801万6千語。
- 5) 本稿で分析対象とした話し言葉語彙リストは注記(4)に示した映画英語コーパスに基づいて作成したものであるが、本文中例示したセリフは全て、科研の補助(JSPS 科研費 25770205)を受けて作成した映画英語話し言葉コーパスから引用したデータである。このコーパスは本稿執筆時には構築が完了しておらず収録語数が確定していないため、本稿で分析対象とした話し言葉語彙リストの作成には使用せず例文の引用のみにとどめた。
- 6) *yep* と *nope* の品詞については、副詞とされることもあるが、本稿では間投詞として分類した。

参考文献

- 塩見知之(2002). 『文部省検定済中学校・高等学校教科書に現れた英語の語彙』. 北星堂書店.
- 古石篤子(2015). 「ある多言語活動の記録－多様性に開かれたところを創る－」『日本の言語教育を問い直す－8つの異論をめぐる－』. pp.145-154. 三省堂.
- 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課(2008). 『中学校学習指導要領解説 外国語編』.
- －(2009). 『高等学校学習指導要領』.
- －(2009). 『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』.
- －(2010). 『中学校学習指導要領 (一部改正版)』.
- －(2011). 『高等学校学習指導要領 新旧対応表』.
- －(2011). 『中学校学習指導要領 (新旧対応表)』.
- －(2011). 『高等学校学習指導要領改訂のポイント』.
- 文部科学省 初等中等教育局 国際教育課(2015). 『生徒の英語力向上推進プラン』.
- 山本五郎(2015). 「話し言葉コーパスを用いた中学基本語彙の分析」『広島外国語教育研究』18. 65-72.

引用作品 (映画)

- Abrams, J. J. (Director) and Kurtzman, A. (Writer). (2006). *Mission: Impossible III* [Motion Picture]. United States: Paramount Pictures.
- Abrams, J. J. (Director) and Orci, R. (Writer). (2009). *Star Trek* [Motion Picture]. United States: Paramount Pictures.
- Anders, S. (Director) and Caspe, D. (Writer). (2012). *That's My Boy* [Motion Picture]. United States:

Columbia Pictures.

Antin, S. (Director and Writer). (2010). *Burlesque* [Motion Picture]. United States: Screen Gems.

Bay, M. (Director) and Orci, R. (Screenplay). (2007). *Transformers* [Motion Picture] United States: DreamWorks SKG.

Bekmambetov, T. (Director) and Grahame-Smith, S. (Screenplay). (2012). *Abraham Lincoln: Vampire Hunter* [Motion Picture]. United States: Twentieth Century Fox.

Burton, T. (Director) and August, J. (Screenplay). (2005). *Charlie and the Chocolate Factory* [Motion Picture] United States: Warner Bros.

Cameron, J. (Director and Writer). (2009). *Avatar* [Motion Picture]. United States: Twentieth Century Fox Film Corporation.

Campbell, M. (Director) and Purvis, N. (Screenplay). (2006). *Casino Royale* [Motion Picture]. United States: Columbia Pictures.

Chan, J. (Director) and Chan, F. (Writer). (2012). *Chinese Zodiac* [Motion Picture] Hong Kong: Beijing Dragon Garden Culture & Art.

Coraci, F. (Director) and Loeb, A. (Writer). (2012). *Here Comes the Boom* [Motion Picture] United States: Columbia Pictures.

Cranston, B. (Director) and Gilligan, V. (Writer). (2009). *Braking Bad Season 2: Seven Thirty-Seven* [TV Series] United States: Sony Pictures Television Inc.

Cronenberg, D. (Director) and Hampton, C. (Screenplay). (2011). *A Dangerous Method* [Motion Picture]. United States: Sony Pictures Classics.

Daldry, S. (Director) and Roth, E. (Screenplay). (2011). *Extremely Loud and Incredibly Close* [Motion Picture] United States: Warner Bros.

Dunn, J. and Ernst, S. (Creator). (2012). *Haven Season 3: Sarah* [TV Series] United States: Entertainment One.

Emmerich, R. (Director) and Kloster, H. (Writer). (2009). *2012* [Motion Picture]. United States: Columbia Pictures.

Favreau, J. (Director) and Fergus, M. (Screenplay). (2008). *Iron Man* [Motion Picture] United States: Paramount Pictures.

Favreau, J. (Director) and Orci, R. (Screenplay). (2011). *Cowboys & Aliens* [Motion Picture]. United States: Universal Pictures.

Frankel, D. (Director) and McKenna, A. B. (Screenplay). (2006). *The Devil Wears Prada* [Motion Picture] United States: Twentieth Century Fox Film Corporation.

Gilligan, V. (Director and Screenplay). (2009). *Braking Bad Season 2: Seven Thirty-Seven* [TV Series]. United States. Sony Pictures Television Inc.

Greengrass, P. (Director) and Gilroy, T. (Screenplay). (2007). *The Bourne Ultimatum* [Motion Picture]. United States: Universal Pictures.

Hackford, T. (Director) and McLaughlin, J. J. (Screenplay). (2013). *Parker* [Motion Picture]. United States: Incentive Filmed Entertainment.

Hanks, T. (Director) and Vardalos, N. (Writer). (2011). *Larry Crowne* [Motion Picture]. United States: Universal Pictures.

Howard, R. (Director) and Goldsman, A. (Screenplay). (2006). *The Da Vinci Code* [Motion Picture]. United States: Columbia Pictures.

Howard, R. (Director) and Koepp, D. (Screenplay). (2009). *Angels and Demons* [Motion Picture]. United States: Columbia Pictures.

Jonze, S. (Director) and Eggers, D. (Screenplay). (2009). *Where the Wild Things Are* [Motion Picture]. United States: Warner Bros.

Lehmann, M. (Director) and Manos Jr., J. (Writer). (2011). *Dexter Season 6: Ricochet Rabbit* [TV Series]. United States: John Goldwyn Productions.

Levy, S. (Director) and Garant, R. B. (Writer). (2009). *Night at the Museum: Battle of the Smithsonian* [Motion Picture]. United States: Twentieth Century Fox Film Corporation.

Moore, J. (Director) and Woods, S. (Writer). (2013). *A Good Day to Die Hard* [Motion Picture]. United States: Twentieth Century Fox Film Corporation.

Pedersen, J. M. (Director) and Torsting, K. (Writer). (2010). *Armadillo* [Motion Picture]. Denmark: Fridthjof Film.

Petzold, C. (Director) and Farocki, H. (Screenplay). (2012). *Barbara* [Motion Picture]. United States: Schramm Film Koerner & Weber.

Peyton, B. (Director) and Gunn, B. (Screenplay). (2012). *Journey 2: The Mysterious Island* [Motion Picture]. United States: Warner Bros.

Phillips, T. (Director) and Mazin, C. (Writer). (2011). *The Hangover Part II* [Motion Picture]. United States: Warner Bros.

Schnauz, T. (Director) and Gilligan, V. (Writer). (2012). *Braking Bad Season 5: Say My Name* [TV Series]. United States: Sony Pictures Television Inc.

Shill, S. (Director) and Lindsay, J. (Novel). (2007). *Dexter Season 1: Circle of Friends* [TV Series]. United States: Colleton Company.

Stanton, A. (Director and Screenplay). (2012). *John Carter* [Motion Picture]. United States: Walt Disney Pictures.

Strause, C. (Director) and Salerno, S. (Writer). (2007). *Aliens vs Predator - Requiem* [Motion Picture]. United States: Twentieth Century Fox Film Corporation.

Verbinski, G. (Director) and Elliott, T. (Writer). (2007). *Pirates of the Caribbean at World's End* [Motion Picture]. United States: Walt Disney Picture.

Wenrich, B. (Director) and Krinsky, N. (Writer). (2012). *Gossip Girl Season 3: Dirty Rotten Scandals* [TV Series]. United States: Fake Empire.

Wiseman, L. (Director) and Bombback, M. (Screenplay). (2007). *Live Free or Die Hard* [Motion Picture]. United States: Twentieth Century Fox Film Corporation.

Wyatt, R. (Director) and Jaffa, R. (Writer). (2011). *Rise of the Planet of the Apes* [Motion Picture]. United States: Twentieth Century Fox Film Corporation.

Yates, D. (Director) and Koves, S. (Screenplay). (2009). *Harry Potter and the Half-Blood Prince* [Motion Picture]. United States: Warner Bros.

Zemeckis, R. (Director) and Gatins, J. (Writer). (2012). *Flight* [Motion Picture]. United States: Paramount Pictures.

ABSTRACT

A Corpus-Based Analysis of Target English Vocabulary for Japanese Junior High and High School Students

Goro YAMAMOTO

Institute for Foreign Language Research and Education

Hiroshima University

The objective of this paper is to analyze approximately 3,000 English vocabulary items that commonly appear in Japanese junior high and high school English textbooks officially approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. Vocabulary items from English textbooks were compared with a same-sized vocabulary list derived from an English speech corpus. A comparative analysis of the two lists shows how (relatively) well the textbook vocabulary represents a group of English words that most frequently appear in oral communication. The comparison reveals a number of interesting features of the English words that Japanese students are supposed to learn in junior high and high school English education. This paper focuses on characteristic English words observed only in the speech corpus-based vocabulary list, which include not only groups of common nouns, verbs, adjectives, and adverbs, but also some oral communication-oriented items such as contracted forms, interjections, discourse particles, and so forth. Analysis of these vocabulary items will show what sorts of words are viewed as necessary for Japanese English learners to further develop their English communication abilities after having learned the fundamental 3,000 English vocabulary items included in officially approved textbooks. This paper is an extension of Yamamoto (2015), which focused on 507 vocabulary items that must appear in each officially approved Japanese junior high school English textbook.